――――平成 14 年度中国語学科卒業堀井敬太氏北海道伊達市長に当選――――

平成 14 年度中国語学科卒業堀井敬太氏が 4 月 23 日統一地方選挙後半戦投開票の結果北海道伊達市長に初当選を果たしました。



堀井氏は伊達市生まれで 1999 年北海道立室蘭栄高校卒業後京都外国語大学中国語学科に入学。2003 年同学科卒業後同志社大学大学院総合政策科学研究科入学 2006 年同学科終了、有限責任監査法人に入所、17 年間一貫して公共政策部門に所属して 150 以上の自治体のアドバイザーを務めてまちづくり・自治体経営の政策づくり等に携わりこの分野での貴重な経験を積んできました。

今般、堀井氏は生まれ故郷の伊達市に貢献して恩返しをしたいと云う思いを込めて東京の法人を退職して急遽本年 3 月に出馬を表明。告示前から講演会や市民との座談会を積極的に行い、「市政を市民の手に」をキャッチフレーズにして、子供の笑顔が真ん中にある町、小中学生の資格取得支援や高校までの医療無償化など子育て政策充実を公約の中心に据え、さらに環境・地域経済に活気のある町・持続可能で充実した行政サービス等の政策を訴え多くの市民の支持を受け、北海道議会 4 期 16 年の実績を持つ対立候補中山智康氏を破り初当選したものです。

長らく無投票が続いていた伊達市長選挙では、堀井氏の新市長誕生により伊達市政は転換期を迎え、堀井新市長の行政手腕に多くの伊達市民が期待しています。

尚、京都外国語大学卒業生で市長に当選したのは、堀井敬太氏が初めてとのことです。

引地正之

（昭和 41 年度英米語学科卒）

2023 年 4 月 24 日付北海道新聞



伊達市長選は堀井氏が初当選

まちづくり力強く

【伊達】「勝った！」。23日午後10時、堀井氏の後援会メンバーの大声が末永町の選挙事務所に響いた。直後に到着した堀井氏は歓喜に沸く支持者約40人の拍手に迎えられ、それぞれと握手を交わして「たくさんの人に支えてもらった結果です」と感謝を述べた。

3月7日の出馬表明から1カ月半。支持を広げるため市内各地で講演会を開き、交流サイト（SNS）も活用。「子どもの笑顔が真ん中にあるまち」をキャッチフレーズに、子育て政策や企業誘致などの経済対策、高齢者らの生活の質を高める交通対策や外出支援などを公約に掲げた。

対立候補は道議を4期務め、菊谷秀吉市長(72)の後継指名を受けた中山氏。堀井氏は「無謀な戦いはやめろとも言われたが、絆の強さで少しずつ支持を広げられた」と厳しい選挙戦を振り返った。今後について「皆さまから負託をいただいたので、力強くまちづくりをしたい」と語った。

片岡雄也後援会長(66)は「皆さんの力で感動の瞬間を迎えられた」と万感の思いを語った。堀井氏の妻雅恵さん(42)は「これからが本番なので、しっかり夫を支えていきたい」と話した。（山中龍之助）

初当選を決め花束を手にする堀井氏＝23日午後10時35分、伊達市末永町の選挙事務所

堀井敬太北海道伊達市長市政報告会

堀井敬太（平成 14 年度中国語学科卒業・平成 18 年度同志社大学大学院総合政策科学研究科修了））北海道伊達市長の市政報告会が 9 月 28 日（土）午後 2 時から伊達市カルチュアーセンター小ホールで開催されました。

堀井市長は、昨年 4 月に伊達市長当選以来、市長としての日常の活動報告をしました。

また、選挙の際に打ち立てた 7 つの公約「①子供たちの自信と笑顔があふれる町づくり②子育てがしやすい町にする③安心・安全に生活をおくれる町にする④地域経済に活気のある町にする⑤市民一人ひとりの声を受け止める⑥持続可能で充実した行政サービスを提供する⑦伊達の将来を見据える」を一つひとつの項目の進捗状況を報告して、市民からの一般質問に丁寧に答えました。

次いで、伊達市出身の北海道議会議員高田真次氏とのトークショーでは伊達の将来と展望を語り合い共に伊達市の発展について協力して行くことを誓い合いました。

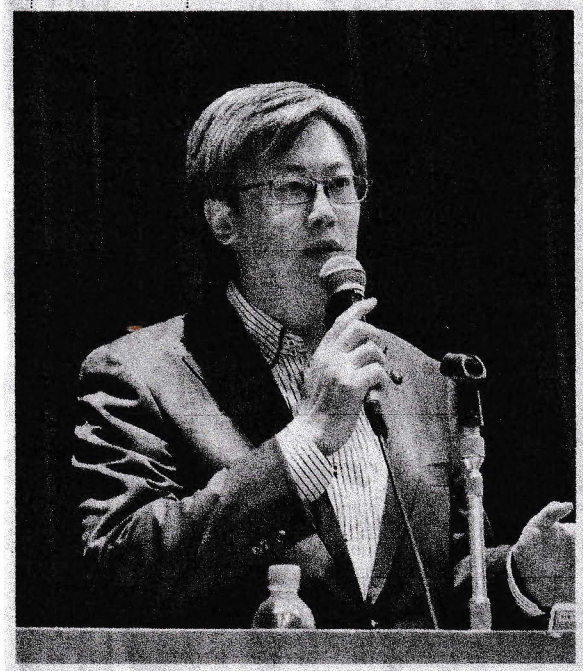
北海道伊達市在住　引地正之
（昭和 41 年度英米語学科卒）

9 月 29 日付け室蘭民報

民報　（第3種郵便物認可）

世界に羽ばたく子を

就任2年目を迎え、市政の取り組み状況について語る堀井市長



堀井伊達市長報告会

新図書館「地域社会の核に」

「誇り」市民と共有

【伊達】伊達市の堀井敬太市長（44）の市政報告会が28日、伊達市松ヶ枝町のだて歴史の杜カルチャーセンターで開かれ、就任1年目の取り組み状況と、今後の施策について語った。（西川悠也）

「ほりい敬太連合後援会」主催。市民ら89人が出席した。報告会では、まず1月の都市計画マスタープランの方向性をテーマにした住民懇談会や、観光大使に芸能人を起用したなど今年の出来事をスライドで紹介した。

その上で自身の基本理念に関連した政策「7つの約束」について説明した。うち「子育てがしやすいまち」では、医療費の補助や第3子以降の給食費無償の具体例を出し、「世界に羽ばたく子どもたちをどんどん出したい」と意欲を見せた。

また、新設に向け動いている市立図書館にも触れ「開設は2026年の夏過ぎを目指している。市民のコミュニティーの核になれば」と期待を込めた。

高田真次道議とのトークセッションで、高田道議の「伊達の魅力は」と問いかけに堀井市長は「伊達は1万年前から人が住み続けてきたまちであり、誇り。市民と共有しアピールしていくべき」とまちの魅力を広くPRすべきと述べた。

参加した市民の中で小学生から「なぜ伊達市が出来たのですか」との質問に、開拓の祖・亘理伊達家から連なるまちの歴史をやさしく説いた。